

パイプファン 工事説明書

壁取付専用（風圧式シャッター付）

用途	浴室用	品番	電源コード付きタイプ
			φ150パイプ用
			FY-12PTS8

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■仕様変更・改造は絶対にしない



火災・感電・けがの原因となります。

分解禁止

■内釜式風呂を設置した浴室に取り付けない



排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

禁止

■交流100ボルト以外で使えない



火災・感電の原因となります。

禁止

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける



漏電した場合、火災の原因となります。

■D種接地工事をおこなう



故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

アース線接続



注意

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する



落下により、けがをすることがあります。

■部品は確実に取り付ける



落下により、けがをすることがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にこなう



誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける



落下により、けがをすることがあります。

■天井には取り付けない



落下により、けがをすることがあります。

禁止

■浴室内に電源スイッチを設けない



湿気により、感電することがあります。

禁止

■指定のコーキング作業は確実にこなう



結露水などが本体に浸入し、火災の原因となります。

お願い

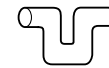
■高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けしないでください。製品の変形やモーターの寿命を縮めます。

■台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所には取り付けしないでください。部品の破損の原因となります。

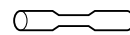
■アース工事をする場合は次のいずれかの方法でおこなってください。他の方法でおこなうと接地が十分でない場合があります。

■次のようなダクト工事はしないでください。

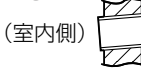
（1）極端な曲げ （2）多数回の曲げ



（3）接続パイプ径を小さくする

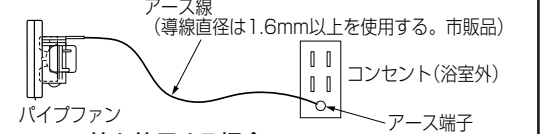


（4）壁埋込パイプを室内に傾斜させる

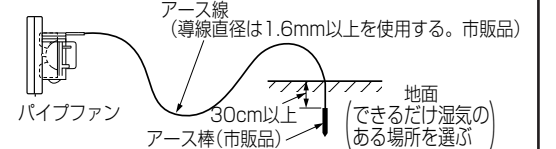


■給気口を設けてください。効果的な換気ができません。

コンセントのアース端子にアース線を接続する場合

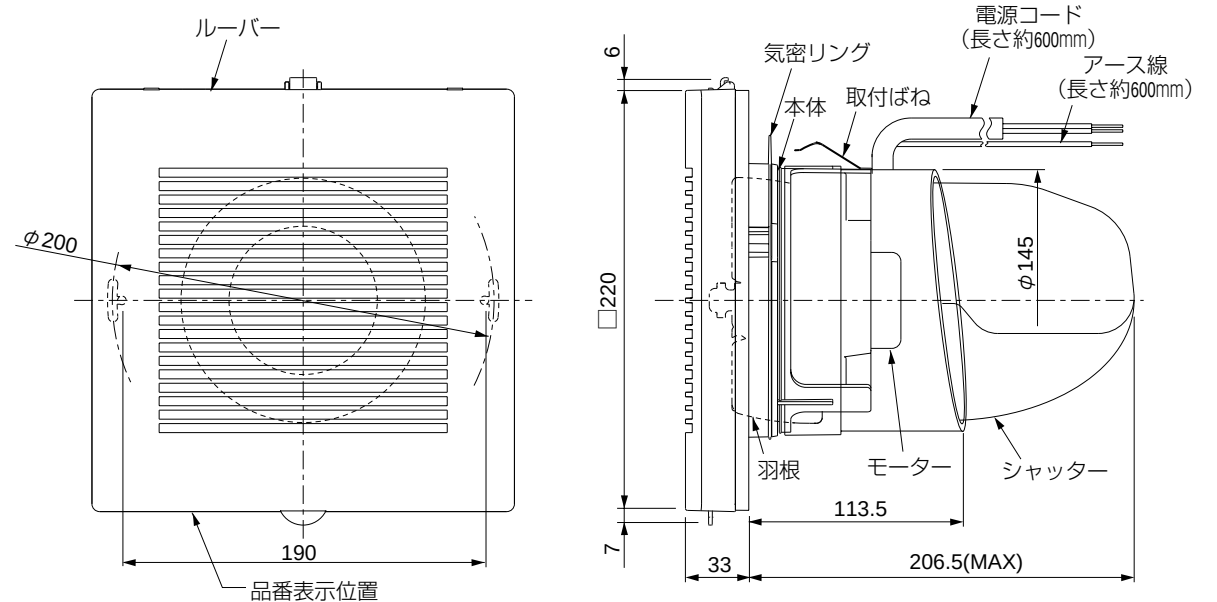


アース棒を使用する場合



各部の名前と寸法

単位：mm



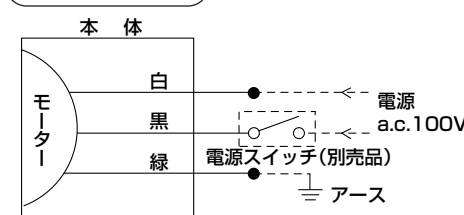
付属品

末尾の数字は数量をあらわします。

ねじ（本体裏面に付属）……………2
（本体固定用）

取扱説明書……………1
（必ずお客様にお渡しください。）

結線図



■電源スイッチを使用する場合は、FY-SV05W（別売品）をご使用ください。市販のバイロートランプ付きの電源スイッチには、消費電力10W以下の製品ではバイロートランプが点灯しないものがあります。

■このパイプファンは次のパイプに取り付けることができます。

適用パイプ（呼び径）	外 径	内 径	下穴径
VU150	φ165	φ154	φ165
FY-KP06	φ153	φ150	φ155

●VP150管は使用しないでください。VP150管にパイプフードの06タイプ（φ150用）が取り付けられない場合があります。
■取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。

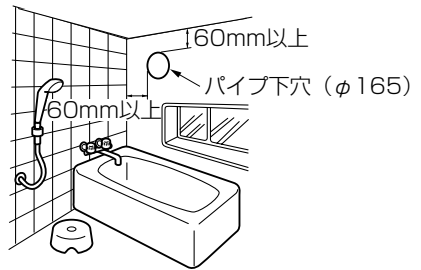
お願い

この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

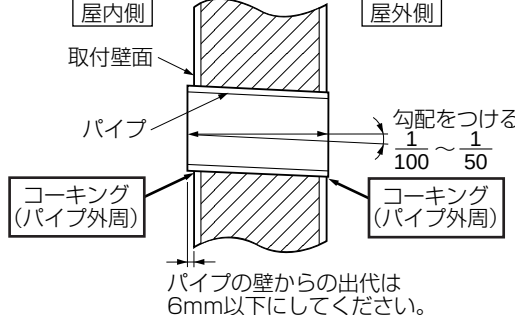
施工方法 以下の手順に従って施工してください。

1 パイプ・パイプフードの取り付け

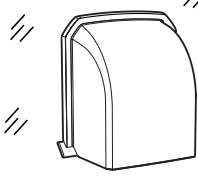
①取り付け場所を決める。
「安全上のご注意」を参考にして取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。



②パイプを壁に埋め込む。
パイプはかならず取り付け、取り付け壁面にコーキング処理を施し、パイプがぐらつかないよう確実に固定してください。



③外壁面には、パイプフード（別売品）、ベントキャップ（別売品）を取り付ける。

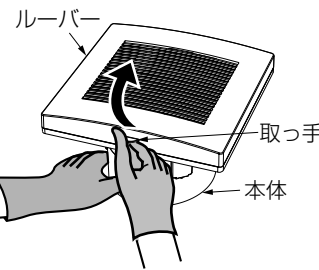


■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

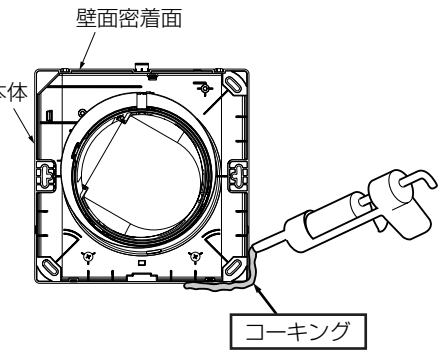
■パイプフード・ベントキャップの施工方法はそれぞれの工事説明書をお読みください。
特に薄壁(壁厚166mm以下)の場合は、薄壁用のパイプフード・ベントキャップを選定してください。
また、パイプフード・ベントキャップが、パイプファン本体に当たらないように施工してください。

2 本体の取り付け

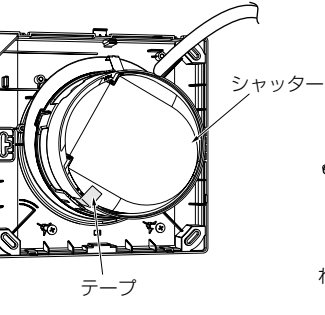
①ルーバーをはずす。
(1)ルーバー下面の取っ手に指を引っ掛け、
(2)手前に引いてはずす。



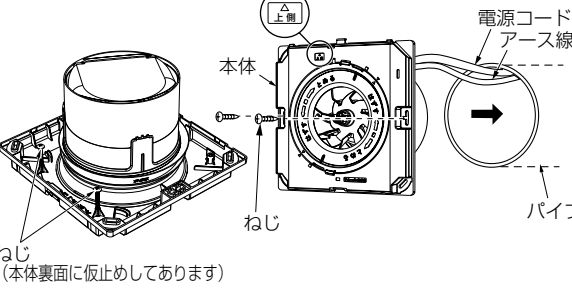
②本体の壁面密着面にコーキング材を塗布する。



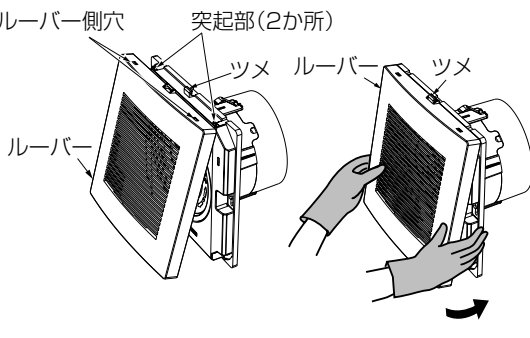
③シャッターに貼り付けてあるテープをはずす。



④本体をパイプに差し込み固定する。
必ず付属のねじ（2個）で固定してください。
余分な電源コードはパイプ内に押し込んでください。



⑤ルーバーを本体に取り付ける。
(1)ルーバーを本体上部のツメに引っ掛け、突起部（2か所）とルーバー側の穴をあわせる。
(2)壁面に当たるまでおろす。
(3)ルーバーが確実に取り付けられているか確認する。



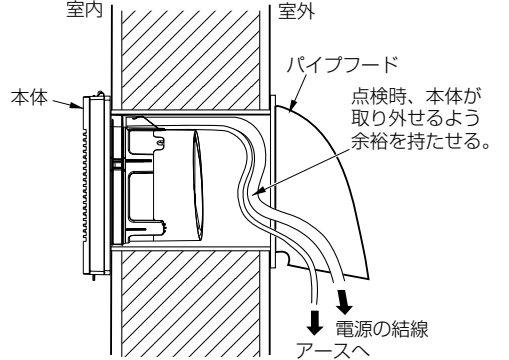
■テープをはがす際、シャッターを変形させないように注意してください。

■上側表示を上にして取り付けてください。
■本体と壁面の間にすき間がある場合は、左右に数回ひねって押し込んでください。
■浴室壁面にねじが立たない場合は、φ3～φ3.5程度の下穴をあけてねじ締めしてください。
■電源コードやアース線がシャッターに当たらないように施工してください。

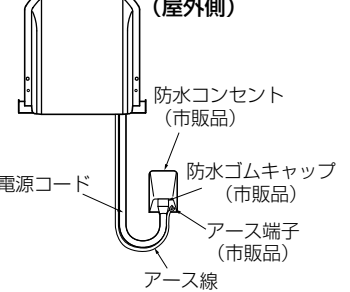
⑥結線方法

防水ゴムキャップ(市販品)への結線方法例 (パナソニック(株)製WF7215Kの場合)

①電線を電線通し穴に通し端子ねじを締め付ける。
②シェルをボディに取り付ける。
③コードクリップをしっかり締め付ける。



■電源コードと防水ゴムキャップ（市販品）を結線し、アース端子（市販品）をかしめて、防水コンセント（市販品）に接続する。



■電源コードやアース線がシャッターに当たらないように施工してください。
■シャッターが確実に開閉することを確認してください。

3 試運転

①運転方法

電源スイッチ（別売品）

入	運転するとき。
切	停止するとき。

②電源スイッチ（別売品）を **入** にして運転し、異常がないか確かめる。

- 羽根が回っていますか？
- 異常な振動・騒音がありませんか？
- シャッターが確実に開閉することを確認してください。

